

# 問題用紙

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(試験時間 120分)

## 問題 1

### 設問 1

- 200 以下の正の偶数の和を求めなさい。
- 1 から 50 までの整数の 2 乗の和を求めなさい。

### 設問 2

ある製品を製造する製造方法 A と製造方法 B とがあり、いずれの製造方法を採用すべきか検討中である。製品価格は 1,020 である。製造方法 A を採用すると、固定費が 8,640 かかり、製品 1 個製造するごとに 900 の変動費がかかる。製造方法 B を採用すると、固定費が 5,400 かかり、製品 1 個製造するごとに 930 の変動費がかかる。

この製品市場の環境は不確実であり、好況時の製品販売個数は 160 個、不況時の製品販売個数は 120 個と見込まれている。

- 製造方法 A と製造方法 B それぞれに対して、好況時の利益と不況時の利益を計算しなさい。
- 製造方法 A と製造方法 B それぞれに対して、利益がちょうどゼロになる製品販売個数を答えなさい。
- 不況が実現し、製品販売個数が 120 個であったとする。このとき、あと何パーセント製品販売個数が落ち込むと利益がゼロになるか、製造方法 A と製造方法 B のそれぞれに対して計算しなさい。
- 確率 50% で好況となり、確率 50% で不況となるものとする。製造方法 A と製造方法 B の期待利益とリスク（分散）を計算し、どちらの製造方法が望ましいかコメントしなさい。

### 設問 3

自社は、ある製品の独占的供給業者である。この製品の価格を 250 に設定すると製品販売個数は 25 個となり、価格を 200 に設定すると製品販売個数は 50 個となる。価格を 2 下げると製品販売個数が 1 個増えるという関係は安定的であるとする。

この製品を製造するための固定費は 900、製品 1 個製造するごとに 120 の変動費が必要である。

利益を最大化する価格と販売数量を求め、その最大利益も計算しなさい。

## 問題用紙

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(試験時間 120分)

### 設問 4

ある製品の製造にあたっては原材料 A と B が代替的に使用できる。製品 1 個を製造する技術的条件は  $ab=1$  である。ここで、 $a>0$  は A の投入量、 $b>0$  は B の投入量である。原材料 A の単位当たり価格は 30 で、原材料 B の単位当たり価格は 120 である。

1. 最適な原材料比率  $a:b$  を整数比で答えなさい。
2. 製品 1 個の最小製造コスト  $c^*$  を計算しなさい。

## 問題用紙

受験番号		氏名	
------	--	----	--

（試験時間 120分）

### 問題2

学校教育にAIを使用することには賛否両論がある。ここでは、ビジネススクールの学生がAIを使うという点に絞って考えるものとする。添付の記事を参考に、日本語で以下の設問に答えなさい。

- （1） 学生がAIを使用することのメリット、デメリットにはそれぞれ効率的な情報収集や論点整理、頭を使わなくなることによる思考力および学習効果の低下などがあるが、それら以外のメリット、デメリットについてあなたが最も重要だと考えるもの1点ずつをそれぞれ100字以内で説明しなさい。
- （2） 慶應ビジネススクールでのMBA学生のAI使用について、学校がとるべき実効性のある具体的な施策を理由と共に400字以内で提案しなさい。

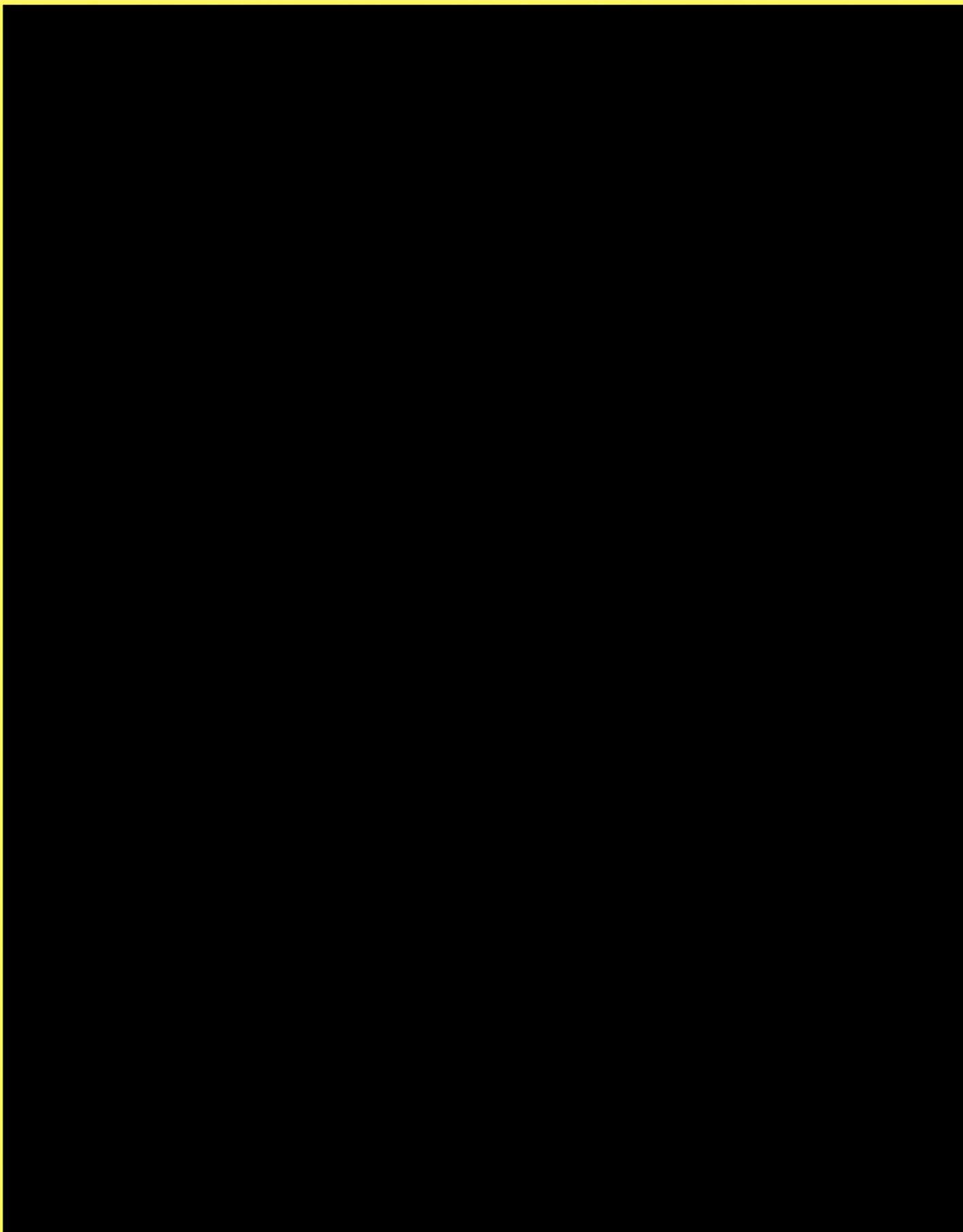
# 問題用紙

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(試験時間 120分)

## Will AI make you stupid?

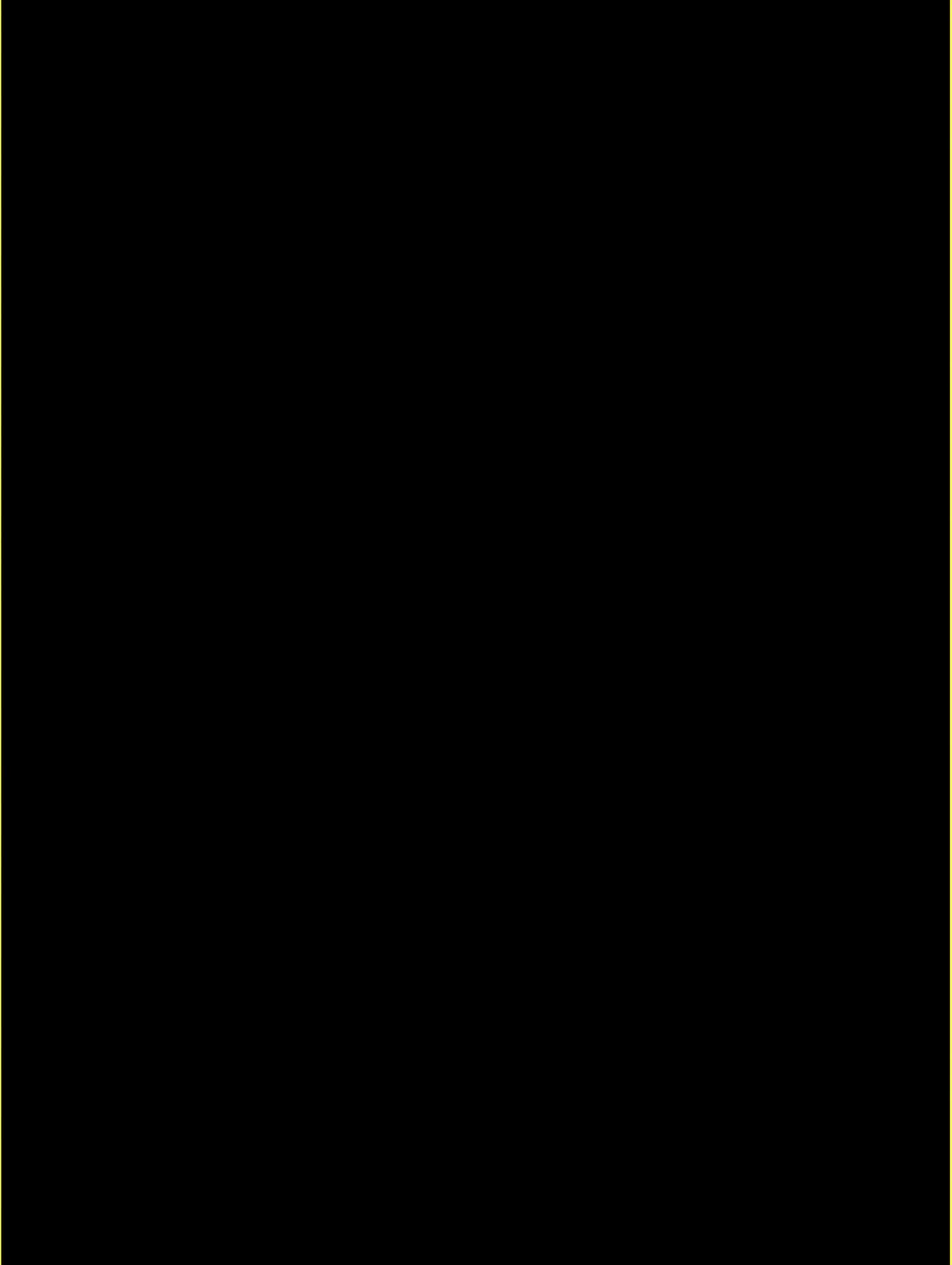
Economist, July 16<sup>th</sup>, 2025



# 問題用紙

受験番号		氏名	
------	--	----	--

（試験時間 120分）



# 問題用紙

受験番号		氏名	
------	--	----	--

（試験時間 120分）

